

CAC ナレッジの紹介



株式会社シーエーシーナレッジ 代表取締役 糸井正幸

1. CAC ナレッジの概要

当社 CAC ナレッジは、今年の4月から CAC グループの一員となりました。『SOFTECHS』の誌上を借りまして、当社の概要・主要業務・戦略などの紹介を致します。

当社は、3月までは専門商社であるユアサ商事の100%出資の情報子会社でありましたが、3月末に株式の81%を CAC が取得しました。これに伴い4月から旧社名・湯浅ナレッジインダストリーから新社名・シーエーシーナレッジに変更して、新たなスタートを切りました。

当社の概要は表1に示すとおりです。

表1 CAC ナレッジの会社概要

◆商号	株式会社シーエーシーナレッジ
◆事業所	本社(東京)、ユアサ商事株式会社別館、他
◆設立	1989年4月1日
◆資本金	5,000万
◆主要株主	株式会社シーエーシー ユアサ商事株式会社
◆従業員数	72名(2002年7月現在)
◆売上高	16億円(2002年3月期)

当社は13年前にユアサ商事の情報部門が独立してできました。当時は出向者20名前後の会社でしたが、その後プロパーの社員を増やしていき、現在は社員72名となっています。年商は約16億円です。協力会社や派遣社員も含め、90名前後で運営を行っています。ユアサ商事向けの仕事が約70%、その他ユアサグループ会社向けの仕事が10%、それ以外が20%程度となっています。

今でも売上の大半を占めていますユアサ商事は、創業が1666年(寛文6年)で335年の歴史があります。創業当時

は炭屋でありましたが、その後、打刃物の行商をするようになり、金物関係を取り扱う商社となりました。現在、従業員約1,000名、年商約4,000億円の商社です。自動車電池で知られているユアサコーポレーション(旧社名:湯浅電池)はユアサ商事と兄弟会社でもあります。ユアサ商事は10年前にユアサ産業と合併を行い、現在は機械・産業機器を扱う部門、衛生陶器やバルブ関係を取り扱う部門、住宅機器や外構資材を扱う部門、建設機械を扱う部門、食料関係を扱う部門等大きく5つのカンパニーが営業活動を行っています。

2. CAC ナレッジの主要業務

当社の業務はユアサ商事ならびにユアサグループ会社向けのソフト開発とその後の運用・メンテナンス業務が中心です(表2「主要な受託開発システム」参照)。

表2 主要な受託開発システム

1. 人事システム
2. 生損保会社向け引き取り情報管理システム
3. 貿易システム
4. 会計システム
5. 見積管理システム
6. 売上・仕入・在庫オンラインシステム(商社)
7. 販売管理システム(パッケージソフト)
(建設機械レンタル業界向け、多品種卸業界向け)
8. 受発注VANシステム(産業機器メーカー)
9. 経営分析システム
10. ネットワークシステム提案
11. エクステリアCADシステム 等

商社のシステムは箱庭システムと呼ばれるほど業務の内容が多岐にわたっていることが特徴です。特にユアサ商事

はそのメインの取扱商品が少量多品種であるため、業務・事務処理の効率化が必須条件となります。したがって、できるだけ手入力を少なくするためのコンピュータ・システムが重要となります。例えば、今ではどの企業も行っていますが、仕入先から納品データを受け入れ、そのデータによって当社の売上・仕入計上を行う仕組みを20年前から実施しています。今の言葉で言えばSCMの初期段階と言えます。

工具関係のお客様にはVAN端末を設置して、お客様から直接商品の検索や発注ができるシステム等を手掛けています。また、貿易関係はドキュメントをいかに効率良く作成するか、見積もり発注システムでは商談管理に結びつけるなどの工夫をしております。

また、前日までの売上・粗利益・経常費・経常利益が全社・部門別に検索できるようになっています。しかし、多くのシステムが構築してから10年以上経過しているため、新しい情報システムの構築を検討する段階にきております。現在、CACと共同で提案活動を行っています。

ユアサ商事ならびにユアサグループ以外の業務として、モデル204というデータベースを使って、生損保会社向けの人事引き去り情報管理システムの運用を行っています。

また、ユアサ商事のお客様に向けてのパッケージ販売をしております。特に建設機械のレンタル業界はニッチな特殊な分野でありますので、それなりに当社のノウハウを生かすことができます。現在50社以上の実績がありますが、できるだけ早く100社達成を目指しています。

3. 今後の戦略

当社の今後の戦略としては、下記の4つの戦略を掲げています(図1「CACナレッジの戦略図」参照)。

- (1) CACグループとの協業を行い、さらなる事業拡大を図る。
- (2) ユアサ商事のシステム開発、運用、保守で得たノウハ

- ウを活用して新たなソリューション事業を立ち上げる。
- (3) 最大顧客であり、有力パートナーとしてのユアサ商事・ユアサグループ会社への提案活動、業務支援を徹底的に行う。
- (4) ソフト会社としての徹底的な納期・品質管理を行い、全てのお客様の信頼を勝ち取る。

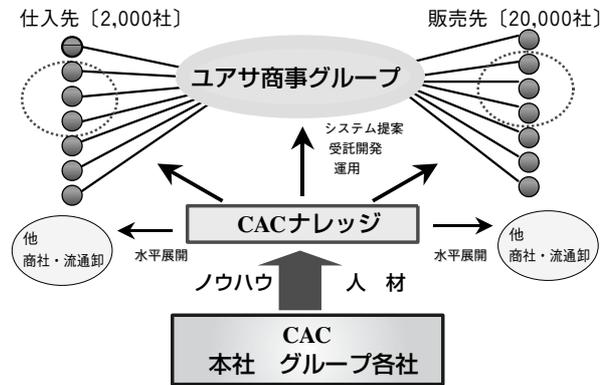


図1 CACナレッジの戦略図

特にCACグループとの協業については、すでいくつかのプロジェクトをいっしょに立ち上げていますし、今後もさらに拡大していきたいと考えています。ノウハウとネットワークを最大限に活用した具体的戦略を現在検討中の中期経営計画の中心にする予定です。

当社では「オープン」「シンプル」「オーソドックス」「スピード」の4つを行動規範としています。オープン情報は共有化、シンプルは分かりやすい経営、オーソドックスは正攻法、そしてスピードある経営判断、この4つの規範を大事にしていこうと思っています。

いずれにしろ「出る釘は打たない」との考えで自由な風土を目指しています。

CACグループの一員として、業績面だけでなく機能面でも貢献できるように努力いたします。今後ともよろしくお願い致します。